

# 取扱説明書

電動式グリーススルブリケーター (100V)

EPL-110 ITEM No. 881248



## 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。  
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

**YAMADA CORPORATION**

## － はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

## － 使用目的

本製品は、AC100V（50/60Hz 共用）を利用した電動式ポンプです。吐出圧力が高く、取り扱いも簡単なため、車両・その他のメンテナンス作業に最適です。

ご使用になれるグリースは、通常では NLGI No.2 位までです。

極寒、低温の状況下で使用した場合は、吐出量が著しく低下します。

## － 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



**警告：** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



**注意：** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。























この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

## － 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

### 警告

-  - 本製品は非防水、非防滴仕様です。雨ざらしや濡れた手による操作は行わないでください。感電の恐れがあります。
-  - 本製品は非防爆仕様です。可燃性雰囲気での使用は行わないでください。爆発、火災の恐れがあります。
-  - ガンレバーを操作するときは、吐出口に顔や手を近づけないでください。ポンプ内で畜圧されたエア混じりの液材が噴出する恐れがあります。失明や手を負傷する可能性があります。
-  - 本製品の吐出部を人に向けしないでください。ポンプを運転していないときでも、圧力が残っている場合があります。液材などが噴出する恐れがあります。もしそれが目に入った場合、失明する可能性があります。
-  - ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。取り扱いによっては引火・爆発の危険があります。
-  - 本製品を改造すると、人身事故や故障を生じる恐れがあります。危険ですので、絶対に改造しないでください。
-  - 作業中、保守要員の方は、本製品の操作または保守を行う前に取扱説明書をよく読んで、完全に理解できるまでは作業を行わないでください。
-  - 本製品の設置、操作および分解作業を行なう際は、適切な保護具（フェイスマスク、耳栓および安全靴など）を着用してください。
-  - 傾斜地など不安定な場所での使用または放置をしないでください。不安定な場所で本製品を使用されますと、転倒による物損事故や施設汚染などが発生する恐れがあります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。
-  - 日常点検を必ず実施してください。
-  - 製品仕様に従って使用してください。
-  - ペール缶交換などで本製品を持ち上げる際は、落とさないように注意してください。落とした場合に受け止めようとすると、エッジ部で手などを負傷する恐れがあります。
-  - ペール缶からポンプを抜くときは、電源を OFF にし、電源コードを抜いてください。ショベル（ポンプ最下部）に手を挟まれると、ケガやポンプ故障の原因となる恐れがあります。
-  - 作業中に危険や異常を感じたときは作業を中止し「4.1 故障の点検とその対策」の項を参照して対応してください。
-  - 液材がなくなるとポンプが空運転状態になり振動が激しくなりますので、ただちに停止させてください。ポンプの寿命を著しく低下させ、周辺機器にも悪影響を及ぼす恐れがあります。
-  - ガンは落とさないように注意して取り扱ってください。破損による漏洩や誤作動を起こす恐れがあります。
-  - リリーフバルブの不必要な調整を行わないでください。機器の破損の恐れがあります。
-  - 分解を伴う点検作業をするときは、必ず電源を OFF にし、電源コードを抜いてください。ガンレバーを引いて配管内およびポンプ内の残圧（液材など）を開放してください。電源を入れたまま分解作業を行うと液材が噴出するなどの恐れがあります。
-  - 取り扱う液材は地面などに直接排出しないでください。有害物質などの処分は液材メーカーの取扱注意事項（SDS など）や適用される法規に従ってください。また、本製品を廃棄する場合も、本製品内に残った液材を除去したうえで、法規に従って処分してください。（公認の産業廃棄物処理業者にお問い合わせください。）
-  - 構成装置には必ずアースしてください。液材を高速で移送する場合は静電気の発生が予想されます。また、可燃性雰囲気になることが予想される場合は換気を徹底してください。

## 注意



- 作動中の本製品には触れないでください。本製品の作動部との接触により負傷する恐れがあります。



- 本製品には AC100V 50/60Hz 以外の電源を使用しないでください。本製品の故障および感電、火災の恐れがあります。



- 仕様に合った液材に使用してください。部品の腐食やこれに伴う液材漏れにより環境汚染に繋がる恐れがあります。また、使用する液材の取り扱いについては、メーカーの取扱注意事項（SDS）に従ってください。



- 防塵・防水などの対策を講じてください。塵埃や雨水などにより液材の汚染に繋がる恐れがあります。



- 本製品の取り付け、取り外しおよびペール缶の設置の際は、各部のエッジに手などを挟まないように気をつけて作業してください。また、腰を痛めないように、本製品を移動または持ち上げる際の姿勢にも注意してください。



- ポンプをペール缶から抜き挿しする際、ポンプ内に残った液材やポンプ外面に付着した液材が垂れ落ちる恐れがあります。服などを汚す恐れがありますので、注意して作業してください。



- 高温液材を移送の場合、ポンプ外面やホースなども高温になっている恐れがあります。ヤケドの恐れがありますので、これらに触れないように注意してください。



- ガンの操作において、レバーとガン本体の間に指を挟まないように注意してください。指を負傷する恐れがあります。



- 作業終了後、または夜間・休日など長時間使用しない場合には、必ず電源を OFF にして、電源コードを抜いてください。また、ガンレバーを引いてポンプ・ホース内の圧力を抜いてください。ホースの損傷や漏れにより施設を汚染させる可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります



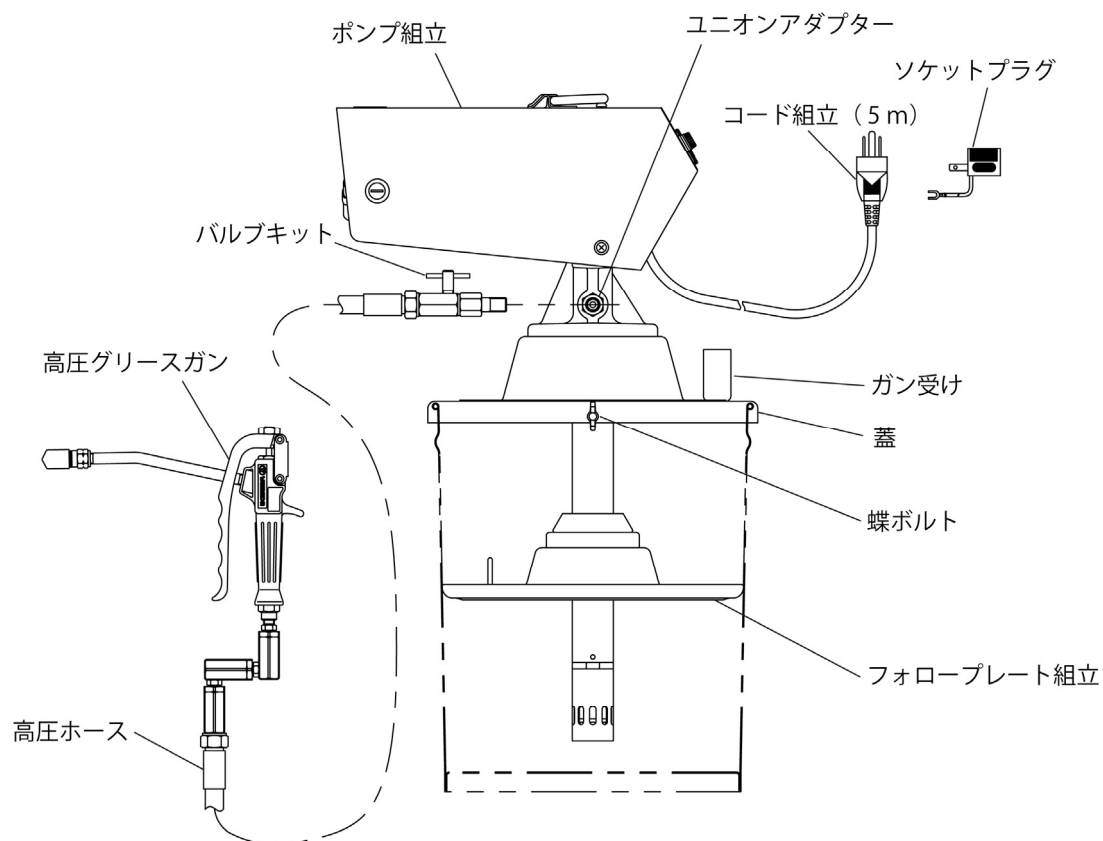
- 本製品には 7A のヒューズを使用してください。

# 目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部の名称 .....	1
1.2 梱包内容 .....	1
2. 使用前の準備 .....	2
3. 使用方法 .....	3
4. 保守・点検	
4.1 故障の点検とその対策 .....	4
4.2 保守・点検 .....	4
5. 分解・組み立て .....	4
6. 部品分解図・パーツリスト	
6.1 881248 EPL-110 .....	7
6.2 851985 高圧グリースガン .....	7
6.3 855474 ポンプ組立 .....	8
7. 仕様 .....	10
8. 製品保証登録シート .....	11
9. 保証規定 .....	12

## 1. 各部の名称

### 1.1 各部の名称



### 1.2 梱包内容

本製品は、段ボールケースにポンプ組立、蓋、フォロープレート組立、付属品などが別個に梱包されています。段ボールケースの上部を開梱し、ただちに輸送中の損傷がないかおよび付属品の欠品がないか確認してください。また、締結部および配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増し締めを行ってください。

## 2. 使用前の準備

### ⚠ 注意



- 配管の接続を行う際には、オネジ部にシール材（またはシールテープ）を塗布し緩まないよう確実に締め込んでください。  
シール材が配管内に入らないように注意してください。  
また、アースの導通を維持するために先端 2 山には塗布しないでください。  
（ただし、ホースユニオンに接続する場合は塗布しません。）  
配管接続後、各部の漏れがないか、また導通されているかを確認してください。

#### 【装置の組み立て】(Fig.1)

- 1) 開梱後、ポンプ組立と蓋を 3 本のナベ小ネジを使用して取り付けてください。
- 2) ポンプ吐出口のユニオンアダプターにバルブキットをねじ込み、ツマミが上になるように固定した後、高圧ホース、高圧グリースガン接続してください。

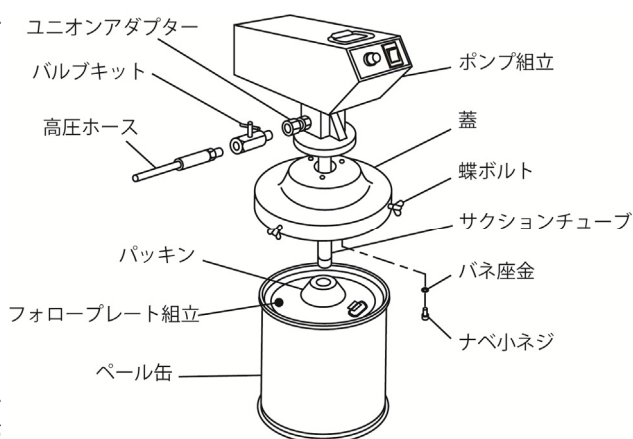


Fig. 1

#### 【パール缶のセット】(Fig.1)

##### <NOTE>

- ・本製品は JIS 規格（Z1620）T 形、S 形の 1 種および 2 種相当のパール缶に適合する設計になっています。上記以外のパール缶にご使用の場合は、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。
- 3) パール缶の蓋を取り外し、付属のフォロープレート組立をパール缶の中心にセットしてください。
  - 4) フォロープレート組立は、グリースの上に平らに置き、手でもみ込むようにしてプレート中央のパッキン部よりグリースが出る位まで、下方に押し付けてください。

##### <NOTE>

- ・ご購入後、はじめてフォロープレート組立を使用するときは、あらかじめプレートの裏側のへこみ部分にグリースを詰めておく作業が早く簡単です。(Fig. 2)

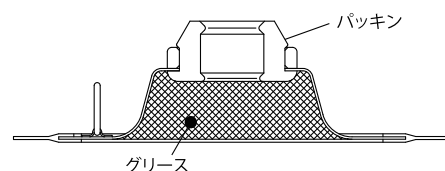


Fig. 2

- 5) ポンプ組立のサクションチューブをフォロープレート組立の中央の穴に差し込んでください。

##### <NOTE>

- ・サクションチューブの先端でフォロープレート組立のパッキンにキズを付けないように注意してください。

- 6) 蓋の 3 か所の蝶ボルトをねじ込み、パール缶と蓋を固定してください。

#### 【電源コードの接続】

- 7) 本製品を平面の適当な場所に設置してください。
- 8) コード組立（5 m）を AC100V コンセントに接続してください。コードが不足する場合は、延長コード（別売）を使用し、接続してください。

### 【グリースのエア抜き】(Fig.3)

- 9) 電源スイッチをONにするとポンプが作動します。ポンプはしばらく作動して、ポンプ・ホース内にグリースが充満して作動音が低くなります。
- 10) 最初のグリースにはポンプ内のエアが混入し、良い状態ではありません。次の操作を行って、均一な状態にしてください。  
バルブキットを開き、下の小さな穴からエアの混入したグリースが吐出するまでポンプを作動させ、均一なグリースが吐出したら、バルブキットを閉じてください。このとき、グリースが手に触れないよう紙などを敷き、吐出したグリースを処理してください。

#### <NOTE>

- ・エアの混入したグリースは白く濁っています。

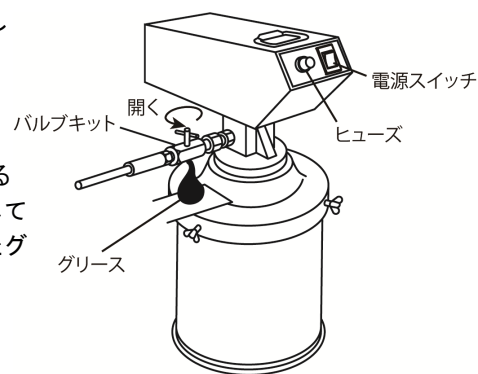


Fig. 3

## 3. 使用方法

### ⚠ 警告



- 使用中は、吐出口を人に向けた状態でガンレバーを操作することは、絶対にしないでください。高圧で吐出されるグリースが直接人体に当たると、皮膚をキズ付けるなどの事故を引き起こす恐れがあります。

### ⚠ 注意



- 作業終了後、または夜間・休日など長時間使用しない場合には、必ず電源をOFFにして、電源コードを抜いてください。また、ガンレバーを引いてポンプ・ホース内の圧力を抜いてください。ホースの損傷や漏れにより施設を汚染させる可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。

#### <NOTE>

- ・ポンプが急に激しく作動し始めた場合、ペール缶内のグリースがないか、またはエアポケットが生じている可能性があります。給脂作業を一時中止し、点検を行ってください。ペール缶のグリースがなくなった場合は、新しいペール缶に交換してください。
- ・ペール缶を交換する際は、ポンプのサクション部やフォロープレート組立に砂やゴミなどが付着しないよう十分注意してください。グリースに砂などが混入すると、本製品や給脂した機器を破損する恐れがあります。
- ・作業休止の際もポンプは作動していますが、圧力が28 MPaに達すると、リリーフバルブによって自動的にリリースされます。グリースはアウトチューブを通りペール缶に戻るため、オーバーロードの危険はありません。

- 1) 給脂するグリースニップルをきれいに拭いてから、グリースガンのハイドロチャックを可能な限り垂直になるようにグリースニップルに押し当ててください。ハイドロチャックの爪がグリースニップルの頭部に噛み付きます。(Fig. 4)
- 2) ガンレバーを引くとグリースは吐出され、ポンプも自動的に作動しグリースが給脂されます。グリースが正常に注入されていると、グリースニップル付近の溝または隙間から古いグリースが押し出されます。新しいグリースが出てくるまで続けてください。
- 3) 給脂が終了したらガンレバーを離してください。ポンプは自動的に止まります。
- 4) グリースガンのハイドロチャックをグリースニップルから取り外してください。圧力がかかっているため、いきなり引っ張るとグリースニップルの頭部を折る恐れがあります。ハイドロチャックを斜めに傾けて内圧を抜き、爪の噛み付きを緩めると、簡単に取り外すことができます。(Fig. 5)
- 5) 給脂作業終了後は必ず電源スイッチをOFFにして、ポンプ・ホース内の圧力を抜いてください。

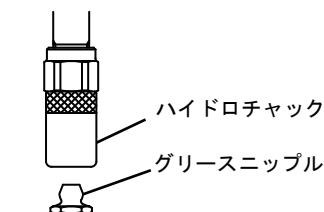


Fig. 4

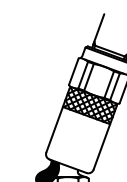


Fig. 5



## 4. 保守・点検

### 4.1 故障の点検とその対策

状況	原因および点検	対策
ポンプが作動しない	ポンプ、バッテリーまでのケーブルが断線している	ケーブルの交換
	ヒューズが切れている	ヒューズ 7A の交換
	上ポンプ組立、下ポンプ組立いずれかのかじり	上ポンプ組立、下ポンプ組立 修理を依頼 ※2
ポンプは作動するが グリースを圧送しない	高圧ホース、高圧グリースガンの詰まり	清掃
	ペール缶が空になっている	ペール缶の交換
	ペール缶の中で空洞になっている	※1
	下ポンプ組立を取り外し、上ポンプ組立のみで作動することを確認	下ポンプ組立の故障 修理を依頼 ※2
ポンプは作動するが 圧力、吐出量が不足 している	高圧ホース、バルブキットその他接続部分から漏れている	増し締め
	リリーフバルブが緩んでいる	リリーフバルブの圧力調整
	下ポンプ組立のバルブシート面の摩耗	分解、洗浄、交換
ポンプは作動するが 上ポンプ組立からグ リースが漏れている	上ポンプ組立と下ポンプ組立を遮断している U パッキンの摩耗	分解、U パッキンの交換
モーターが唸る	フートバルブ部のショベルに異物が挟まっている	清掃

※1 ポンプは作動するがグリースが出ない場合は、蓋をポンプ組立ごと取り外し、フォロープレート組立が斜めになっていないか確認してください。フォロープレート組立が斜めになっている場合は、水平になるように押し込み、プレート中央のパッキン部よりグリースが盛り上がってきたら、蓋を取り付けてください。

冬季や高粘度の場合に、グリースの流動性が悪いために起こる現象です。






※2 お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

### 4.2 保守・点検

- ・ ホースは消耗品です。定期的に点検し、キズ・漏れなどがある場合は早めにお買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問合せ先へご連絡ください。
- ・ ポンプのパッキン摺動部の部品は、摩耗するため、1 年に 1 回点検・交換が必要です。

## 5. 分解・組み立て

ポンプの作動が不良・停止の状態になった場合は、不用意にポンプを分解せず「4.1 故障の点検とその対策」の項を参照して、その状況をよく判断し必要以外の部分まで分解しないでください。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。取り扱いによっては引火・爆発の危険があります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 部品を洗浄の際、アルミニウム、銅合金、鉄などを腐食するような液材は使用しないでください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 分解を伴う点検作業をするときは、必ず電源を OFF にし、電源コードを抜いてください。ガンレバーを引いて配管内およびポンプ内の残圧（液材など）を開放してください。電源を入れたまま分解作業を行うと液材が噴出するなどの恐れがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 使用するグリースの種類によっては、発ガン物質が含まれているものがあります。グリースメーカーの取扱注意事項を熟読し、注意して取り扱ってください。</li> </ul>

### 【下ポンプ組立の分解】

- 1) ポンプ・高圧ホース内の圧力を抜き、高圧ホースをポンプから取り外してください。
- 2) ペール缶と蓋を固定している3か所の蝶ボルトをねじ戻し、ポンプ組立を蓋ごと持ち上げてペール缶から取り出してください。
- 3) 蓋とポンプ組立を止めている3本のナベ小ネジをねじ戻し、ポンプ組立から蓋を取り外してください。
- 4) ポンプ組立をバイスに固定してください。

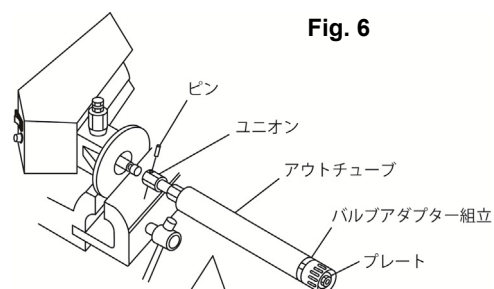


Fig. 6

- 5) バルブアダプター組立にスパナを掛けてねじ戻すと、サクシジョンチューブも一緒に回り、上ポンプから外れます。プレートに当たるまで引っ張ると、上ポンプのCONNECTING RODと接続しているユニオンが現れます。ピンを抜きユニオンのネジを戻すと下ポンプが分離できます。アウトチューブを引き出します。(Fig. 6)

もし、サクシジョンチューブと一緒に回らず、バルブアダプター組立のみが外れてしまった場合は、割りピンを外し、プレートを固定しているナットのネジを戻し、プレートを外します。アウトチューブを外し、サクシジョンチューブのローレット部にパイプレンチを掛けてねじ戻すと上ポンプのCONNECTING RODと接続しているユニオンが現れます。ピンを抜きユニオンのネジを戻すと下ポンプが分離できます。(Fig. 7)

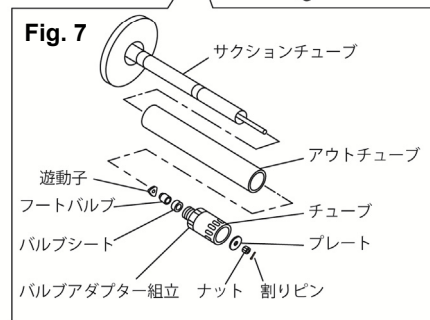


Fig. 7

- 6) 下ポンプのシリンダー部分をバイスに固定し、バルブアダプター組立にスパナを掛けてねじ戻し取り外し、バルブシート、フートバルブ、遊動子を取り出してください。(Fig. 8)
- 7) サクシジョンチューブのローレット部にパイプレンチを掛けてねじ戻し取り外し、インテークバルブを抜き出してください。
- 8) ユニオンとピストンを止めている止め座金の折り曲げ部分を開き、スパナを使用してユニオンとピストンを分解し、ボールとスプリングを取り出してください。(Fig. 9)

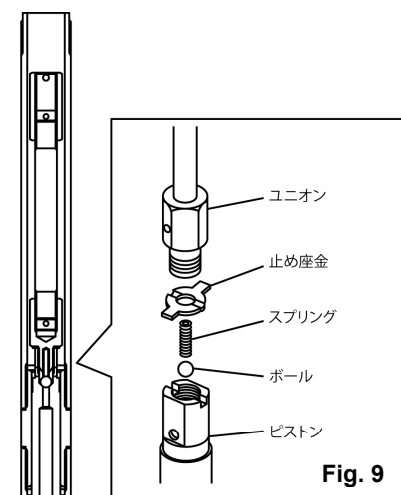


Fig. 9

- 9) 各部品を洗浄・点検し、キズや摩耗などがあれば新品と交換してください。特に、ピストン、プランジャーロッドはメタルシール機構のため、キズや遍摩耗などがあるとシール性が悪く、リークによる圧力低下や、吐出量が減少しますので交換する必要があります。ピストンとシリンダーは相手合わせの一对となっているため、セットで交換してください。(Fig.10)

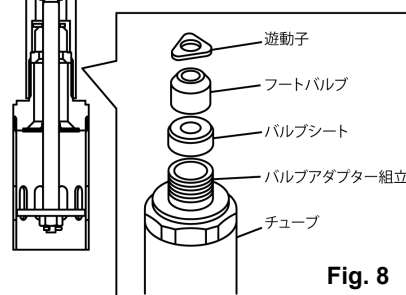


Fig. 8

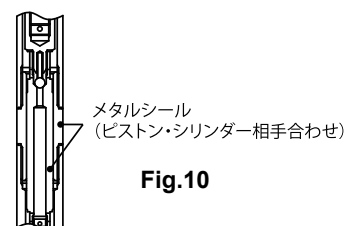


Fig.10

### 【インテークバルブの組み立て】(Fig.11)

- 1) ピストンの中にボールを入れ、ユニオンにスプリングを挿入してください。  
止め座金の出っ張り部分をピストンの溝に落ち着かせて、2 片の突起がユニオンの六角の対辺に来るようにユニオンをねじ込み、スパナで確実に締め付けてください。その後、止め座金の突起をユニオン側に折り曲げることで、緩み止めとなります。

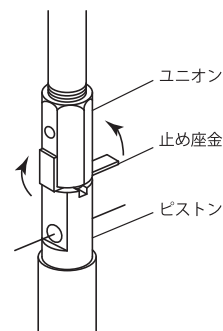


Fig.11

### 【フートバルブの組み立て】(Fig.12)

- 2) インテークバルブをサクシオンチューブに差し込んでください。
- 3) プランジャーロッドに遊動子、フートバルブ、バルブシートの順に上下の向きを間違えないように挿入してください。
- 4) バルブアダプター組立、チューブをねじ込み、プレートを取り付けた後、ナットで締め込み、割りピンを取り付けてください。
- 5) 反対側からアウトチューブを差し込んでください。サクシオンチューブからユニオンを引き出し、上ポンプ組立側のコネクティングロッドにねじ込み、ピン穴が合ったところでピンを差し込んでください。
- 6) 上ポンプ組立のクランクケースにサクシオンチューブをねじ込み、最後にバルブアダプター組立にスパナを掛けて確実に締め込んでください。

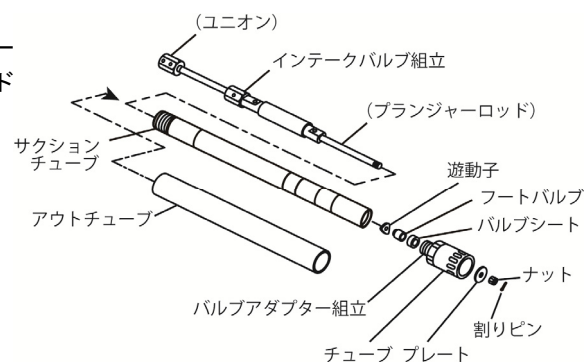


Fig.12

### 【上ポンプ組立の分解・組み立て】(Fig.13)

#### <NOTE>

上ポンプ組立のカバー組立を取り外し、クランクケース内にリークしたグリースが上がっていないことを確認できた場合は、Uパッキンを交換する必要はありません。

- 1) ピンセットまたは先端が細い鉄棒を使用して、パッキン押さえ、Uパッキン、バックアップリングを取り出してください。
- 2) 新しいUパッキンに少量のグリースを塗布し、上下の向きを間違えないように注意しながら、バックアップリング、Uパッキン、パッキン押さえを組み込んでください。

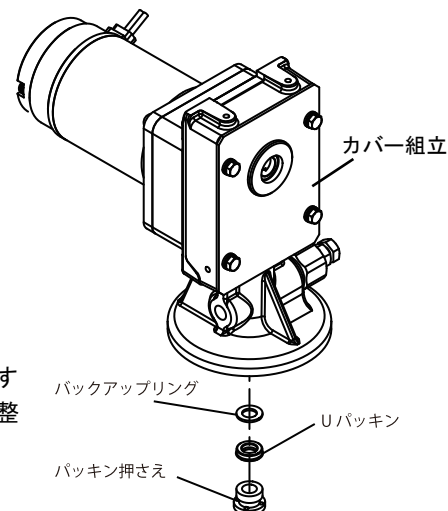


Fig.13

### 【リリースバルブの圧力調整】(Fig.14)

リリースバルブは工場出荷時に 28 MPa に調圧され、ナットでロックされていますので、調整の必要はありません。何らかの理由で緩んだ場合は、下記の手順で調整してください。

## ⚠ 注意

!

- 手順を守らないと、人身事故や物的損害事故の恐れがあります。

- 1) 高圧ホース、バルブキットを取り外し、吐出口に最大 50 MPa の圧力計、高圧バルブを取り付けます。
- 2) 電源スイッチを ON にしてポンプを作動させ、グリースの吐出を確認後、バルブを閉じます。その際の圧力が 28 MPa になるよう調整ボルトを回して調整してください。
- 3) 調整後は、ナットで確実にロックしてください。

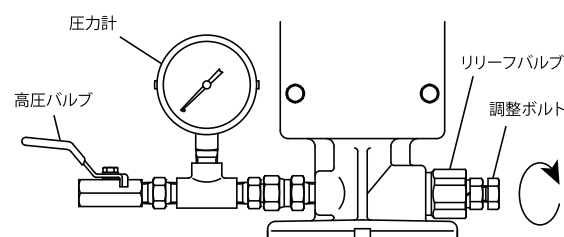
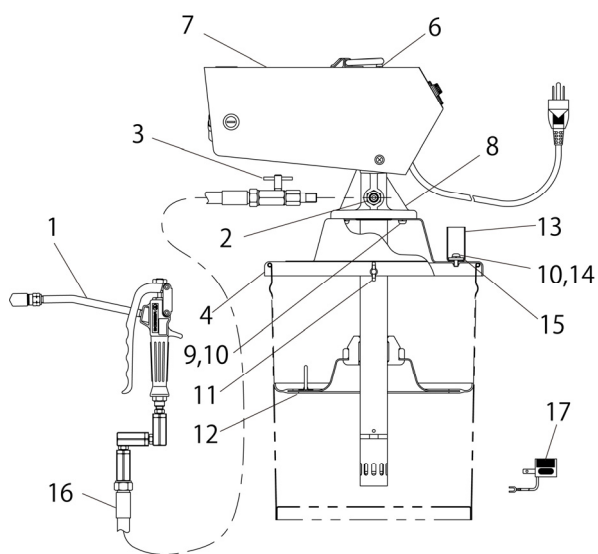


Fig.14

## 6. 部品分解図・パーツリスト

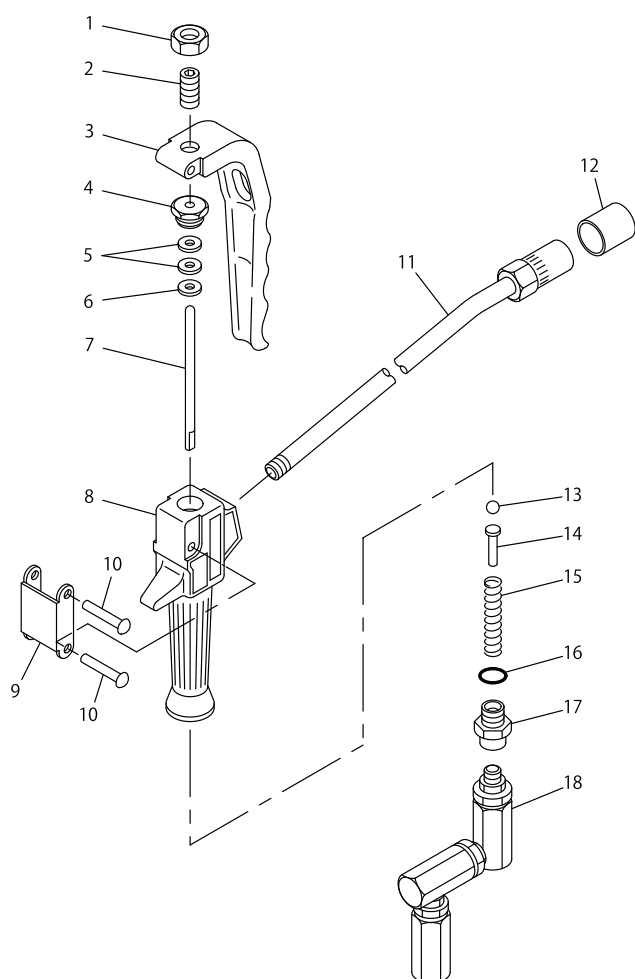
### 6.1 881248 EPL-110



#### ■パーツリスト

No.	部品番号	部品名称	員数
1	851985	高圧グリースガン組立	1
2	680080	ユニオンアダプター	1
3	803903	バルブキット	1
4	717558	蓋	1
6	683347	セムス小ネジ	4
7	805427	カバー組立	1
8	855474	ポンプ組立	1
9	602296	ナベ小ネジ	3
10	631418	バネ座金	4
11	610623	蝶ボルト	3
12	803085	フォロープレート組立	1
13	707937	ガン受け	1
14	602298	ナベ小ネジ	1
15	707880	座金	1
16	695034	高圧ホース	1
17	686740	ソケットプラグ	1

### 6.2 851985 高圧グリースガン

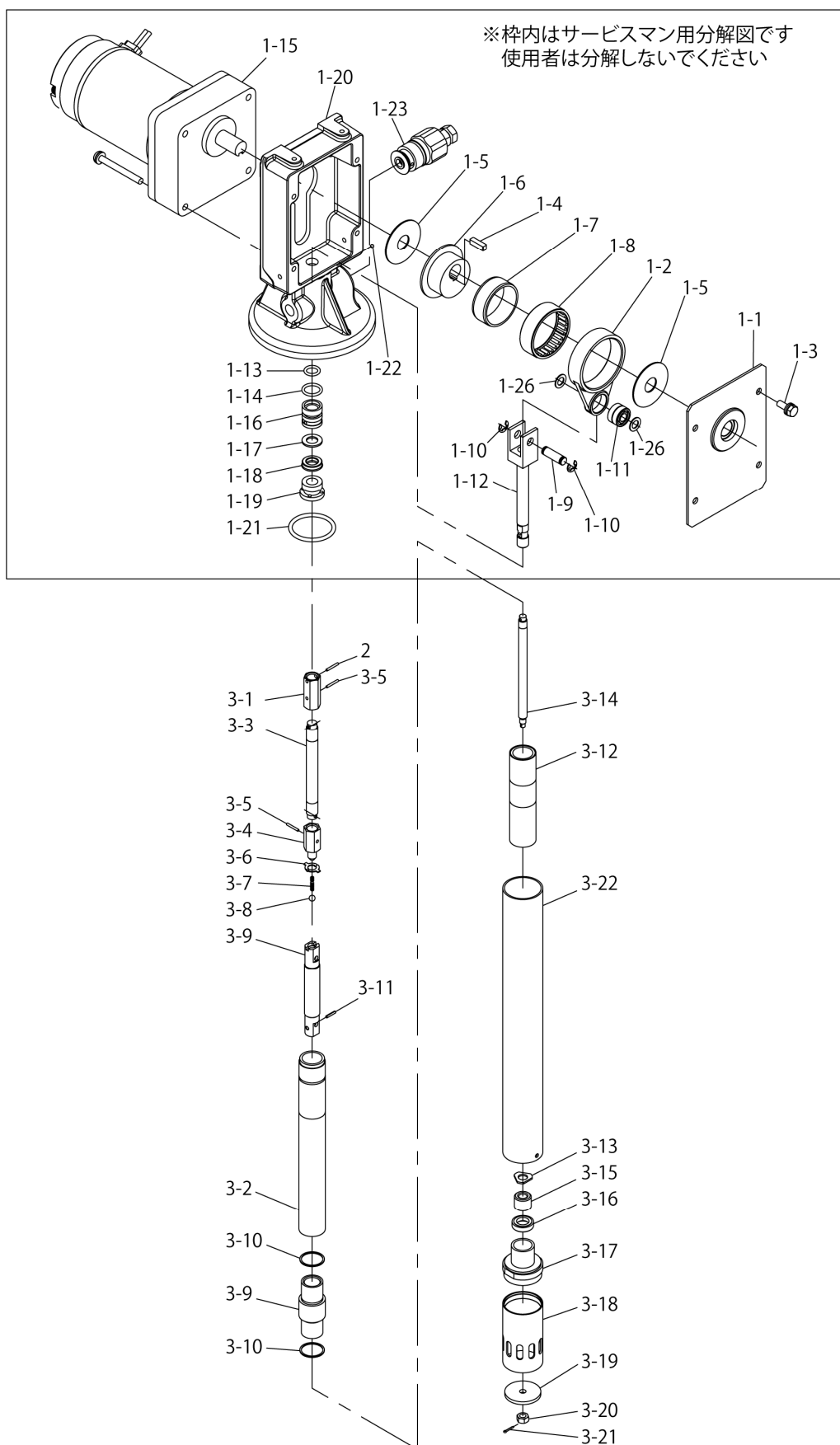


#### ■パーツリスト

No.	部品番号	部品名称	員数
1	627641	ナット	1
2	711750	ボルト	1
3	711354	レバー	1
4	711444	止めナット	1
5	772160	パッキン	2
6	713638	パッキン押さえ	1
7	711357	ロッド	1
8	711352	ガン本体	1
9	711351	リンク	1
10	683201	リベット	2
11	804911	注油ノズル	1
12	685728	キャップ	1
13	630314	ボール	1
14	711445	スプリング受け	1
15	711446	スプリング	1
16	640011	Oリング	1
17	710971	ユニオン	1
18	802910	スィベルジョイント組立	1

※No.3, 8, 9, 10 は非分解です。

### 6.3 855474 ポンプ組立



## ■パーツリスト

No.	部品番号	部品名称	員数
1	805429	上ポンプ組立	-
1-1	832933	カバー組立	1
1-2	713240	リンク	1
1-3	682262	ボルト	4
1-4	716029	キー	1
1-5	713230	ストッパー	2
1-6	713231	カム	1
1-7	682994	インナーレース	1
1-8	682995	ニードルベアリング	1
1-9	710808	ピン	1
1-10	630779	E 型止め輪	2
1-11	684347	ボールベアリング	2
1-12	832192	コネクティングロッド	1
1-13	640009	O リング	1
1-14	640014	O リング	1
1-15	684336	モーター組立	1
1-16	710813	ブッシュ	1
1-17	771405	バックアップリング	1
1-18	771418	U パッキン	1
1-19	710896	パッキン押さえ	1
1-20	715988	クランクケース	1
1-21	640037	O リング	1
1-22	630310	ボール	1
1-23	802587	リリーフバルブ組立	1
1-26	713239	座金	2
2	702971	ピン	1
3	802588	下ポンプ組立	-
3-1	706091	ユニオン	1
3-2	709642	サクシオンチューブ	1
3-3	709643	ロッド	1
3-4	702975	ユニオン	1
3-5	702971	ピン	2
3-6	702974	止め座金	1
3-7	702976	スプリング	1
3-8	630313	ボール	1
3-9	801051	シリンダー組立	1
3-10	702977	座金	2
3-11	632754	スプリングピン	1
3-12	706072	フットチューブ	1
3-13	702980	遊動子	1
3-14	706399	プランジャーロッド	1
3-15	771404	フットバルブ	1
3-16	702982	バルブシート	1
3-17	830407	バルブアダプター組立	1
3-18	712043	チューブ	1
3-19	702984	プレート	1
3-20	627010	ナット	1
3-21	632019	割りピン	1
3-22	710815	アウトチューブ	1

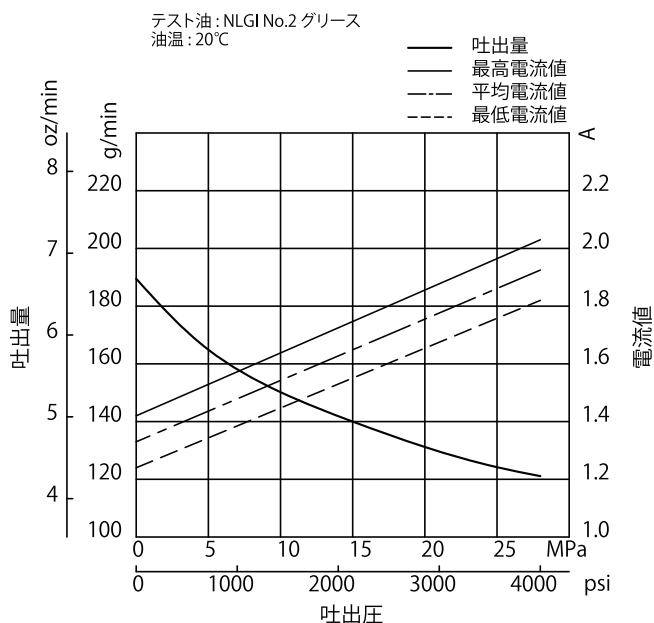
## 7. 仕様

### ■仕様

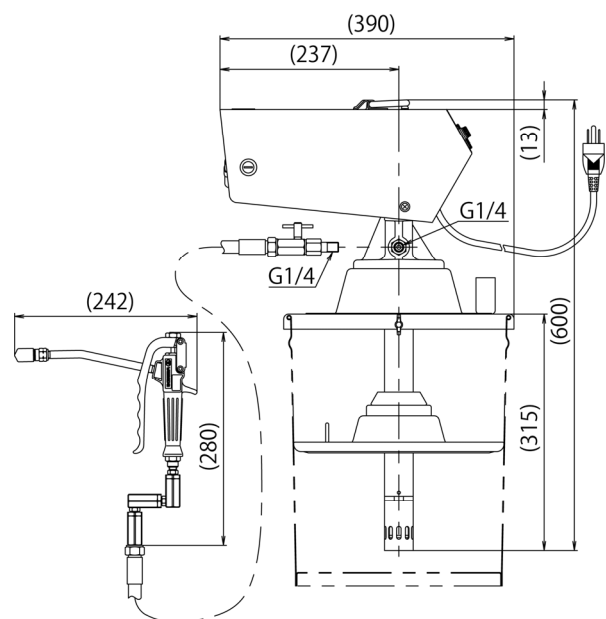
型式		EPL-110
製品番号		881248
定格電圧		AC100V (50/60Hz)
モーター定格	出力	100 W
	定格電流	2.0 A
最高吐出圧力		<連続定格時> 28 MPa
最高吐出量		<連続定格時> 260 g / min
作動音	騒音レベル *1	87.5 dB
使用環境温度範囲	環境温度	-10 ~ 40 °C
	液材温度	0 ~ 80 °C
質量		13.0 kg
アクセサリ		851985 高圧グリースガン 803085 フォロープレート組立 680080 ユニオンアダプター 803903 バルブキット 805428 コード組立 (5 m) 695034 高圧ホース (G 1/4×2.5 m) 686740 ソケットプラグ
オプション		852042 ホースリール (SHR-3C15) 852077 ホースリール (SR-3C10K) 855470 ペールキャリア (S-200)

\*1 測定方法は ISO 1996 に準じる。

### ■パフォーマンスカーブ



### ■外観寸法



## 8. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____		フリガナ ご担当者名 _____																												
郵便番号 _____		ご所属 _____																												
フリガナ ご住所 _____ _____		ご連絡先 T e l .    (        ) _____ - _____ F a x .    (        ) _____ - _____ Eメールアドレス _____																												
<p>■ 貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報 は 当社の 個人情報 方針 に 基づき 適切な 安全 対策 の もと 管理 し、お 客様 の 同意 なく 第三者 へ 開示、提供 いたし ませ ン。

宛先  
株式会社 ヤマダコーポレーション  
営業本部  
TEL. 03-3777-4101  
FAX. 03-3777-3328



## 9. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

**1.保証期間：**製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

**2.保証内容：**保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

**3.適用除外：**保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用された場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類            ・各種パッキン類            ・コード類

**4.補修部品：**補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。





---

## 株式会社ヤマダコーポレーション

---

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号  
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>  
E-mail [sales@yamadacorp.co.jp](mailto:sales@yamadacorp.co.jp)



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所  
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

---

**製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055**